

---

— CONTENTS —

---

- ◆合同企業説明会『原子力産業セミナー2022』を東京、大阪にて開催。学生439名が参加。
  - ◆原子力人材育成ネットワーク国際化分科会の課題に係る「ウェブセミナー」の開催
  - ◆原子力国際人材養成コースの開催(12月7～9日及び15日～17日)
  - ◆「原子力人材育成ネットワーク」報告会のご案内
- 

- 
- ◆合同企業説明会『原子力産業セミナー2022』を東京、大阪にて開催。学生439名が参加。
- 

原産協会と関西原子力懇談会は、2022年卒の大学生、大学院生を主な対象に（第二新卒も対象）、15回目となる合同企業説明会「原子力産業セミナー2022」を開催しました。このセミナーは、原子力産業界の人材確保支援と学生への原子力産業への理解促進、情報提供を目的としているもので、10月10日(土)に大阪の梅田スカイビル「アウラホール」で、10月31日(土)には東京の新宿エルタワー「サンスカイルーム」にて開催しました。

出展企業数は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、東京34ブース、大阪26ブース、計60ブースとなりました。過去最高を記録した昨年度より21社減となりましたが、来場学生数（既卒含む）は、東京246名、大阪193名、計439名となり、前年度のセミナーより、184名増となりました。人材需給の緩みで学生の就活への関心が高まっていること、対面式の就活セミナーが激減していること、開催時期を昨年度の2月から10月へと大幅に前倒ししたことが増加の要因と考えられます。両会場では新型コロナウイルスの感染拡大防止策を万全に施すとともに、出展企業は、対面式で参加する以外にもインターネット経由でリモート参加ができるようにしました。東京では7社、大阪では6社がリモート参加しました。会場には、原子力を専攻する学生（31%）の他、文系を含む様々な学科の学生が来場し、各ブースで対面式やインターネット経由による説明を聞きました。

参加学生からは「今年は新型コロナウイルスの影響で企業のインターンや説明会が中止となり、なかなか企業の方々と直接話し合える機会がなかったため、今回の原子力産業セミナーは自分の就職活動にとって有益でした」「原子力への風当たりが強い中、原子力系企業を志望する私にとって大変有難いものでした」「今回のセミナーがなかったら原子力に触れる機会がなかったと思います。貴重な企画を有難うございました」等の好意的な意見が多く、東京、大阪ともに開始から終了時間まで各ブースで企業担当者の説明を熱心に聞く姿が見られました。出展企業からは「熱意・積極性のある学生が多かった」「原子力専攻学生が多く、手ごたえを感じ良かった」との声が聞かれました。

原産協会では今後も引き続き、原子力産業界の人材確保支援に取り組んでいきます。

---

◆原子力人材育成ネットワーク国際化分科会の課題に係る「ウェブセミナー」の開催

---

原子力人材育成ネットワークの国内人材の国際化分科会が主催となり、国際機関などでの活躍を目指す方たちの一助となることを目的に、国際人材育成研修の参加経験者を対象としたウェブセミナー（卒業生対象 Webinar）を 11 月 30 日（月）に、原子力人材育成ネットワーク参加機関を対象とした専門別ウェブセミナー（専門別 Webinar）を 12 月 21 日（月）に開催いたしました。

第 2 回 卒業生対象 Webinar

演題：国際プロジェクトで可能なこと～コミットメントからエンロール、リリースまで～

演者：川崎 信史 氏

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

大洗研究所 高速炉・新型炉研究開発部門 国際・社会環境室 国際グループ

GenIV フォーラムポリシーディレクター

第 2 回国際活躍応援・専門分野別 Webinar

演題：核燃料分野の国際活動

演者：北野 剛司 氏

原子力規制庁 長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門 上席技術研究調査官

尾形 孝成 氏

電力中央研究所 原子力技術研究所 副所長

国際機関でご活躍されるまでの経緯、経験、帰国後のご活躍についてお話しいただきました。参加者からの質問にも答えていただき、参加者にとっては大きな励みとなりました。

令和 2 年度内にさらに 2 回の開催を予定しております。皆さまのご参加をお待ちしております。

---

◆原子力国際人材養成コースの開催(12 月 7～9 日及び 15～17 日)

---

将来国内の原子力関係各組織のリーダーとなることが期待される国内の若手の国際化促進を目的に、原子力国際人材養成コースを開催しました。このコースは、単なる語学研修ではなく、原子力についての見識を広げ、研修生が自分の意見を英語で述べる素地を身につけ、グローバルなコミュニケーション能力を向上させることを目標としています。

まず、準備プログラムを 12 月 7 日から 9 日までオンラインで実施し、合宿までにスピーチ／発表原稿を作成することで英語に対する意識を高め、12 月 15 日から 17 日まで **British Hills**（福島県天栄村）にて、英語漬けの研修を行いました。

今年は電力、メーカー及び研究機関から 9 人の参加者があり、研修内容は原子力に関して英語による講義、グループワーク、ビジネス英語レッスン等で構成され、最終日には、総まとめとして、3 グループがそれぞれのトピックについてプレゼンテーションを行いました。

新型コロナウイルスの感染が拡大している状況での開催となりましたが、オンラインを駆使するとともに、対面方式の研修においても、万全の感染防止対策を講じて実施いたしました。オンラインが主流になりつつありますが、対面方式の良さを改めて実感した、という声も聴くことが

できました。当初は緊張も見られた研修生も、オンラインプログラムを導入した効果もあり、徐々に講義後も講師の方に積極的に質問する様子が多く見られました。また、同じ原子力に携わる者としての仲間意識や刺激を受けて、今後の国際的な業務に対する意識もさらに高まりました。

---

◆「原子力人材育成ネットワーク」報告会のご案内

---

今年度も、ネットワークの活動と原子力人材に係る主な課題について情報共有を図るために、「原子力人材育成ネットワーク」報告会の開催を予定しております。詳細は、後日ネットワークのHPに掲載いたします。

開催日時：令和3年2月16日（火） 13:30～17:00（予定）

開催方法：Web方式

内 容：原子力人材育成ネットワーク活動報告、コロナ禍での教育の在り方等

費 用：無料

問合わせ先：E-mail [jn-hrd.houkoku@jaea.go.jp](mailto:jn-hrd.houkoku@jaea.go.jp)

◆◆◆=====

JN-HRD.NET ニュースレター（2020年12月）

【発行者】原子力人材育成ネットワーク事務局

【連絡先】[jn-hrd.net@jaea.go.jp](mailto:jn-hrd.net@jaea.go.jp)

【過去の記事】<https://jn-hrd-n.jaea.go.jp/latest.php>

=====◆◆◆